

出水総合医療センターの診療ビジョン

出水総合医療センターは、出水地区の地域医療を担う公立の基幹病院として、次のとおり短期的、中期的及び長期的ビジョンを策定する。

1. 短期的ビジョン（目標達成年度：平成 25 年度まで）

- 1) 消化器疾患患者の疾病治療とその予後管理及び予防医学を基本とする「地域完結型の消化器疾患センター（仮称）」の設立を目指す。
 - (1) 消化器内科及び外科の連携を密にし、食道をはじめとする消化管、肝臓、膵臓及び胆嚢に至る疾患の早期発見から治療及び予後までを完結させる。
 - (2) 地域完結型診療体制を確立するため、不足している高度医療機器等を平成 23 年度末までに整備する。
- 2) 常勤医師による腎臓内科設立を目指す。
 - (1) 合併症や他の基礎疾患により地域の他の医療機関では管理が困難な人工透析患者の受入を充実させる。
 - (2) 腎疾患患者の疾病治療とその予後管理及び予防医学を基本とし、地域における先進的な役割を担う。
- 3) 勤務医師の臨床研究及び臨床教育の環境を整える。
 - (1) 総合内科医としての研鑽を積める診療体制を整える。
 - (2) 専門医としての研鑽を積める診療体制を整える。

2. 中期的ビジョン（目標達成年度：平成 28 年度まで）

- 1) 脳卒中疾患患者の疾病治療とその予後管理及び予防医学を基本とする「地域完結型の脳卒中センター（仮称）」の設立を目指す。
- 2) 循環器疾患における診療体制の整備を進め、阿久根市民病院と連携しながら地域の循環器疾患の救急対応を支援するとともに、予防医学に努める。
- 3) 整形外科の診療体制の再構築を図り、24 時間体制の救急医療の充実や災害拠点病院としての役割を果たす。

3. 長期的ビジョン（目標達成年度：平成 32 年度まで）

産婦人科診療の 24 時間体制再開を目指すとともに、周産期医療の再構築を図り、地域住民が安心してお産できる環境の整備に努める。